



図版第二六 木器・木製品 容器、農工具、部材、用途不明部材、祭祀具



報 告 書 抄 録

ふりがな	なみよせみやけだいせき							
書 名	波寄三宅田遺跡							
副 書 名	一般国道416号道路改良工事に伴う調査							
巻 次	第1分冊遺構編・第2分冊遺物編Ⅰ・第3分冊遺物編Ⅱ							
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第172集							
編 著 者 名	清水孝之(編) 工藤俊樹(編) 山本孝一(編) 鈴木篤英 赤澤徳明 富山正明 中原義史							
編 集 機 関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所 在 地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL 0776-41-3644 E-mail : maibun-c@pref.fukui.lg.jp							
発行年月日	2021年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
なみよせみやけだ 波寄三宅田 いせき 遺跡	ふくいけん 福井県 ふくいし 福井市 なみよせちよう 波寄町	18201	01044	36° 9′ 28″	136° 8′ 56″	20100701～ 20101228 20110401～ 20110831	10,670	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
波寄三宅田 遺跡	集落	縄文時代 早期～晩期	川	縄文土器・石器・ 石製品・土製品		8区川から遺物が多量 に出土し、大珠・石棒・ 土偶も出土した。		
		弥生時代後 期～古墳時 代前期	方形周溝墓・ 溝・土坂・ 井戸・川	土器・玉作り関連 遺物・玉類・木器・ 木製品		主に第Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ区域 に展開する。		
		古代	掘立柱建物・ 井戸	須恵器・土師器・ 墨書土器・瓦		主に第Ⅱ・Ⅲ区域に展 開する。		
		中世	掘立柱建物・ 井戸	陶磁器・土師器・ 土製品・木製品		主に第Ⅲ区域に展開す る。		
要 約	<p>波寄三宅田遺跡は、福井市波寄町集落の北東側に位置し、九頭竜川左岸の氾濫原に広域に展開する。現状は標高3mを測る水田地帯であるが、古代まで遺跡の北西側には三里浜の砂丘を境に潟湖が存在していたと考えられ、潟湖を利用して集落が営まれたと考える。</p> <p>遺構の主な時期は、弥生時代後期～古墳時代前期および奈良・平安時代の古代に大別でき、前者については第Ⅳ区域1区SD1と第Ⅳ区域8区川において大量の土器を検出した。後者については第Ⅱ・Ⅲ区域においては整然と配置された建物群を検出し、遺跡の中心部を捉えることができた。建物群は、重複して構築した形跡がなく、共伴する遺物も少量の供膳具を主体としていることから、居住集落ではなく荘園を管理するような公的施設であった可能性が高い。</p> <p>遺物は、第Ⅳ区域8区川から出土したものが大半を占め、川の上層で弥生時代後期～古墳時代前期の土器、玉作り関連遺物、木器が出土し、川が形成される以前の最下層から膨大な量の縄文時代の土器、石器を検出した。縄文土器の時期は早期～晩期におよぶが、後期初頭から前葉が量的主体をなす。</p>							



---

福井県埋蔵文化財調査報告 第172集

## 波寄三宅田遺跡

— 一般国道416号道路改良工事に伴う調査 —

第3分冊 遺物編Ⅱ

令和3年3月5日 印刷

令和3年3月15日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター  
〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10  
印刷 白崎印刷株式会社  
〒910-0843 福井県福井市西開発3-715

---

